

総社 新医療体系

レポート 救急現場・搬送

市政モニターの赤木宏平さん（美袋、写真の左端）は、今年4月から救急救命士が2人増員になった消防署の昭和出張所（美袋）で、救急現場での処置や、総社新医療体系の柱の一つである市外への搬送について尋ねた。



救急現場での処置

市外の病院へも直接搬送

症状や容体を観察した救急隊の判断、家族の希望などで

総社新医療体系の柱の一つである搬送体制の強化。患者の容体を観察した救急隊の判断で、市外の医療機関へも直接搬送します。また、状況によってはドクターヘリを活用します。

救 急救命士（救急隊）は、患者の症状や容体を観察し、搬送先の病院を選定。市外の病院への搬送や、状況によってはドクターヘリを活用

することもあります。なお、患者やその家族の希望も十分考慮し、病院に受入要請をするようにしました。実際に救急搬送件数の7割近くは、

倉敷市など市外の病院に搬送していただきます。また、ドクターヘリが離着陸できるヘリポートは市内に16か所用意しました。

救急車の正しい利用を！

「救急車は無料だから」「救急車で病院へ行ったほうが優先的に診てもらえると思ったから」「どこの病院に行っていけばいいかわからないから」などといった使い方をしていませんか？ また、タクシー替わりなどで救急車を利用する人が増えています。

救急車は急病や事故などで緊急に医師の治療を受けなければならない患者を24時間いつでも安全に医療機関などへ搬送するためのものです。

救急車の台数には限りがあります。生命に危険があり、1分1秒を争う患者への対応が遅れてしまう恐れがあります。救急車を本当に必要とする人のもとに少しでも早く到着するために、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



■ AEDの使用

心停止のとき、状況に応じてAEDを使用する



■ 搬送先の確保

患者の容体や状況などを伝え、受入先の医療機関を確保する



■ 点滴（薬剤投与）

心停止のとき、心臓を動かす薬剤（アドレナリン）を使用する



■ 気管挿管

心肺停止の場合、酸素を直接肺に送るため、気管に管を挿入する

救急現場での疑問？

救急車が事故現場や患者さん宅などで、10分以上も停車しているのを見たのですが、何をしているのですか？ また、どうして、すぐ出発しないのですか？

答

次の2つの理由が主な原因です。

1つ目は、搬送先の病院が決定してから現場を

出発するからです。搬送先が決まらないまま出発すると、いわゆる「たらい回し」になることもあり、結果的に搬送時間が長くなることを防ぐためです。

もう1つは、救急車に乗っている救急救命士が、搬送よりも気管挿管や薬剤投与などの救命処置を優先したほうが良いと判断した場合です。搬送を急ぐあまり、救急現場での必要な処置を怠ると、かえって症状が悪化することがあるからです。

問い合わせ 消防本部
警防課 (☎) 8344

